

2021 Summer

NO.475

AAR News



[Photo] ロヒンギャ難民キャンプに AAR が開設した女性や子どものための活動施設で、ビルマ語と英語を習う子どもたち（バングラデシュ）

特集

学びを支える

子どもや若者の未来のために

発行：特定非営利活動法人 難民を助ける会



AAR Japan

認定NPO法人 難民を助ける会

特集 学びを支える

学ぶことは生きること——。

学校教育をはじめとする学習は、子どもや若者、あるいは大人にとっても、未来を切り開く大きな力になります。しかし、紛争や障がい、貧困などさまざまな理由で、学習の機会を得られない人々も少なくありません。AARが世界各地で取り組む「学びを支える」支援活動を報告します。

「ウガンダ」

ひとつの教室に
100人

東アフリカの内陸国ウガンダには、西隣のコンゴ民主共和国の東部地域で続く紛争を逃れて、43万人超の難民が流入しています。難民居住地に住む子どもの3割が、学校に通えずにいます。AARは昨年、ウガンダ西部にあるチャングワリ難民居住地で教育支援を開始しました。

居住地にある初等教育校（下写真）は、ひとつの教室に100人を超える児童がすし詰めになったり、教科書がなかったり、数人で1冊の教科書を使ったりしているのが実情です。また、居住地の外から何時間も歩いて通勤する教師もあり、児童、教師の双方が厳しい状況にあります。AARは国連機関や他団体と連携して、教室の設置、教員宿舎の建設、教科書・文房具の配付など教育環境の改善を進め、2万人いる児童の間から、「教室でケンカが減ったよ」「学校が楽しくなった!」という声が聞かれるようになりました。男子に比べて退学率が高い女子児童を応援しようと、AARが居住地にある3校で運営する「女子教育クラブ」では毎週1回、放課後にディベート（討論）、進路指導などを実施。



また、女子は生理をきつかけに学校を辞めてしまう例が多いため、保健教育として生理時の衛生管理の仕方を伝えながら生理用布ナプキンを作るほか、周囲の教員や男子にも正しい理解を促しています。

初等教育6年のネマ・シエラさん（17歳・上写真）は「クラブ活動は学校で一番好きな時間です。お気に入りには英語のディベートで意見を発表すること。生理についてのワークショップでは、自分だけでなく、友だちをどうサポートすれば良いかも学びました」と笑顔で話してくれました。

「ケニア」

もう一度学校に通いたい

「幼い頃に両親と生き別れ、家族の記憶がない」という南スーダン難民のローズ・ワルンさん（19歳・写真右）は、4万人超が滞在するケニア北西部のカロバイエ難民居住地で暮らしています。AARは同居住地で初等・中等教育支援に取り組み、現在は経済的理由などで通学・進学できずにいる若者の復学に向けた支援に力を入れています。

ローズさんは2016年以降、ここで初等教育を受けていましたが、



18歳の時に妊娠・出産し、中等教育には進めませんでした。相手の男性との関係は途絶え、「世帯主」として幼い娘と親戚の女の子の世話をしています。「同じ年齢の友だちが楽しそうに学校に通っているのを見ると、悲しい気持ちになります。私も学校に戻りたいのですが、学用品や制服を用意する余裕がありません」。紛争で両親を亡くしたコスマス・オデデさん（20歳・同左）は、居住地で中等教育3年まで学び、AARが開講したパソコンの基礎研修を受講するなど、学習意欲にあふれた青年です。しかし、南スーダンで受けた教育課程の修了証がなく、ケニア側の規定で最終学年には進級できませんでした。「今は友だちから取り残された気分です。できれば学校で勉強を続けて、将来はパソコン技術を生かしてビジネスマンとして起業したい。自分の力で可能性をつかみたいと思っています」と夢を語ります。

復学や就学を希望する子どもや若者に学用品を支援する募金キャンペーンを実施します。ご協力お願いします。詳細は同封チラシをご覧ください。

「トルコ」

生活のために言語を学ぶ

シリア内戦の発生から10年、隣国トルコには約360万人のシリア難民がいますが、アラビア語を母語とするシリアの人々にとって、トルコ語を話せないことが就学・就労の壁になっています。AARは昨年度、民間のトルコ語教室を通じて、約150人を対象に「トルコ語学習支援」を実施。オンライン形式の3カ月コースで学んだ結果、事前のテストで38.4点だった平均点は74.3点に上がり、受講者は日常会話レベルのトルコ語を身に付けることができました。

受講したバシヤール・アラウンさん（31歳）は「職探しの時に必ず『トルコ語は話せるか』と聞かれるが、私は話せないので仕事をもらえなかった。今は意思疎通ができるようになったので、何とか仕事を見つけられると思います」と求職活動に前向きになりました。3人の子どもの母親、ラシャ・ハラフさん（35歳）は「買い物に行っても言葉が通じずに困っていました。日常会話を習ってから、近所の人たちと言葉を交わしたり、自分で子どもを病院に連れて行ったりできるようになりました」と話してくれました。



学校にトイレや手洗い場を設置し、安心して勉強ができる環境を整えています（パキスタン）



コロナ禍の休校中、特別支援学級に通う子どもに手話のオンライン授業を実施（カンボジア）



障がい者のための職業訓練校でパソコンや理容・美容、洋裁を教えています（ミャンマー）※現在休校中



AARが届けた生活費で食用油、クラッカーなど食料品を購入した世帯

ミャンマーでは今年2月以降、政治的・社会的混乱が続く、これまでになくとも市民800人が死亡する異常事態となっています。最大都市ヤンゴンでは手製爆弾による爆破事件が連日発生するなど、人々は不安と恐怖の中で暮らしています。AARは混乱の影響で経済的に追い詰められた障がい者や困窮世帯への緊急支援を行っています。

AARは当初、食糧・衛生用品を個別配付する予定でしたが、現在の治安状況では物資の大量調達・輸送は危険を伴うため、現金および現地の送金サービスを使った生活費の支給に支援方法を変更しました。初回の支援として5月中旬、ヤンゴン市内の障がい児家庭29世帯に約6000円（2カ月分の食費に相当）を届けることができました。障がい児がいる家庭の多くは、新型コロナウイルス感染に追い打ちをかける今回の事態で両親が仕事を失い、わずかな貯金を取り崩すなどして生活しているのが実情です。

現地では経済活動が停滞したうえ、政情不安に伴って預金者による引き出しが続く、5月以降は銀行から満足に現金を引き出せない状況になっています。AARは今後も治安状況を慎重に見極めながら、現地の障がい者支援団体とのネットワークも活用して、障がい者や困窮世帯に直接支援を届けて参ります。



衛生用品	マスク、石けん、蚊帳などを約6,000世帯に配付
衛生設備	給水タンク40基、手洗い場30基を設置
啓発活動	コロナ対策を含めた衛生面の注意事項の啓発

緊急支援

混乱続くミャンマー 障がい児家庭サポート

感染症対策／水・衛生

アフリカにマスク25万枚 製薬大手エーザイご提供

新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、AARは感染対策支援として、製薬大手のエーザイ株式会社からご提供いただいたマスク25万枚をウガンダ、スーダン、ザンビアの3カ国で配付しています。



保健ボランティアにマスクについて説明するUNHCRの医師（ウガンダ）



アフリカに送られるマスクの梱包（エーザイ筑波研究所）。左からエーザイの塚原克平執行役、畑桂hhcデータクリエーションセンター・グローバルヘルス研究室室長、堀井孝昭・同研究室主幹研究員、AARの北朱美

ウガンダでは隣国コンゴ民主共和国から流入した難民が暮らす西部のチャングワリ難民居住地でも、コロナの感染が広がっています。診療所や医療従事者が限られているうえに、マスクの数が絶対的に不足しています。結核やマラリアなどの感染症対策が充分ではないところに、コロナの影響が追い打ちをかけています。

同居住地には日本から送られたマスク10万枚が4月末に届き、AARウガンダ事務所では国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）や医療支援団体と協議のうえ、診療所および居住地で衛生啓発活動などに従事する保健ボランティア246人とコミュニティリーダー79人に配付しました。

UNHCRのウガンダ人医師、ロナルド・ルベガさんは「遠い日本からマスクを送ってくださった皆さまに感謝します。マスクは難民居住地での感染症予防に有効活用します」。コンゴ難民で保健ボランティアのジュヤンベ・マーキさんは「私たちの保健医療活動では、深夜に急患で呼び出されることもあり、患者に接する際に感染予防のマスクは欠かせません。保健ボラン

ティアのための医療品支援は非常に不足しているもので、日本からの支援はとても助かります」と話しています。

AARとエーザイは、「顧みられない熱帯病」のひとつである「マイセトーマ」の対策事業をスーダンで共同実施しています。今回はエーザイが調達した不織布製マスク25万枚をアフリカのコロナ対策に役立ててほしいとの打診を受けて、AARが衛生改善や難民支援活動を実施している3カ国の現地事務所などを通じてニーズ調査を行ったうえで配付先を決めました。ウガンダのほかに、スーダン首都ハルツームのコロナ対策拠点病院に12万枚、ザンビア近隣諸国から流入した難民の居住地・再定住地の診療所に3万枚をそれぞれ送りました。

AARは昨年来、コロナ感染対策の緊急支援として、日本国内の障がい福祉施設・団体にマスクや消毒液を届けているほか、海外13カ国の難民や障がい者、貧困家庭に衛生用品などを配付しています。今回のエーザイのご協力に重ねて感謝するとともに、AARのコロナ対策への皆さまのご支援をお願い申し上げます。

難民支援

エチオピア難民の水衛生環境を改善

エチオピア北部ティグレ州で2020年11月に発生した政府軍と武装勢力の衝突によって、大量の避難民が発生し、そのうち6万人超が隣接するスーダン東部に流入しています。難民居住地は衛生環境が整っておらず、新型コロナウイルスの感染拡大も懸念されるなか、AARは現地協力団体と連携して、水衛生環境を改善する活動を6月に開始しました。

地で、左記の3つの活動を実施します。衛生用品などの配付では特に女性や子どもの安全に配慮し、夜間トイレに行く際などに使う懐中電灯も配る予定です。難民となった人々は家財道具も持たずに国境地帯の荒地を越えて来ており、さまざまな分野の緊急支援が求められています。AARは長年スーダンで水衛生分野の事業を実施してきた経験とネットワークを生かして、エチオピア難民支援に取り組んでまいります。

フレクシェより 継続したご支援



製造業のための生産スケジューリングシステムを開発、提供する株式会社フレクシェより、AAR の世界 14 カ国での活動にとご寄付をいただきました。同社は 2011 年の東日本大震災をきっかけとした継続的なご支援に加え、ホームページに AAR 職員へのインタビューを通じた当会の紹介記事を掲載してくださっています。

花王の社員有志から 障がい者支援にご寄付



花王株式会社のグループ社員有志による寄付組織「花王ハートポケット倶楽部」と花王株式会社からのマッチングによるご寄付を、ヤンゴンの障がい者支援にお寄せいただきました。会員の皆さまより、「より困難な環境に置かれている障がい者への支援に共感します」とのお言葉をいただきました。

オンラインシンポジウム 「混迷するミャンマー情勢と ロヒンギャ難民問題の行方」

ミャンマー情勢とロヒンギャ難民問題を考えるシンポジウムを開催します。ミャンマー研究で知られる根本敬・上智大学教授、中西嘉宏・京都大学准教授をお招きし、ロヒンギャ問題を専門とする AAR 職員の報告と併せて、最新情勢の分析と今後の展望をお伝えします。

日 時：2021 年 7 月 31 日（土）14:00～16:00

参加費：無料

参加方法：ZOOM を利用します。お申し込みいただいた方へ、参加に必要な URL などをご連絡します。



バングラデシュのロヒンギャ難民キャンプ

調査会社のダイバーシティが 法人サポーターに



中長期的な視点で AAR をご支援いただく「法人サポーター制度」。AAR の理念にご賛同くださり、社会課題とともに解決するパートナーとして、企業調査やコンサルティング業務を行う株式会社ダイバーシティが新たにご加入くださいました。また、困難な状況に置かれているミャンマーの方々の一助になればと、AAR が実施する緊急支援にもお気持ちをお寄せいただきました。

舞鶴市の皆さまが店頭募金

京都府舞鶴市では、同市在住の鷺田マリ西日本担当理事の呼びかけにより、多数の店舗などで AAR の募金箱が設置されています。このたび、市内の「ファミリースーパーフクヤ」に設置された募金箱に集まった募金をお寄せいただきました。

チャリティコンサート 「弾いて祈る 天満敦子さん ヴァイオリン・リサイタル」

「望郷のバラード」の演奏で人気の世界的なヴァイオリニストの天満敦子さんをお招きするコンサート。7 年ぶりに AAR 主催のコンサートに天満さんがご出演くださいます。コンサートの純益は、難民支援など AAR の活動に充てられます。

日 時：2021 年 9 月 5 日（日）14:00 開演（13:30 開場）

会 場：ハクジュホール（東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5

（株）白寿生科学研究所本社ビル 7F）

料 金：全席指定 6,000 円（別途、送料・手数料 500 円）



AAR 主催のチャリティコンサートで演奏する天満敦子さん（2014 年）

各種お問い合わせ・お申し込み先

■ AAR 東京事務局（平日 10 時～18 時）

☎ 03-5423-4511

✉ info@aarjapan.gr.jp



AAR イベント



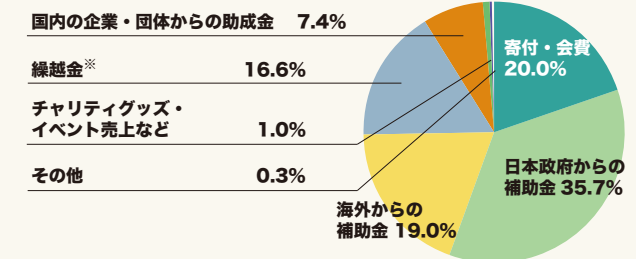
2020 年度会計報告 2020 年 4 月～2021 年 3 月

2020 年度は、日本国内外の皆さまから 3 万 517 件の温かいご支援をいただきました。日本を含む 16 カ国において 36 の事業を実施し、49 万 4,481 人の方々に直接支援を届けました。前期繰越金を除いた収入合計額は約 17 億 1,400 万円、支出は海外での支援活動に約 11 億 8,600 万円（当期支出全体の約 76.7%）を、国内での支援活動には約 1 億 9,700 万円（同 12.8%）をそれぞれ充てました。

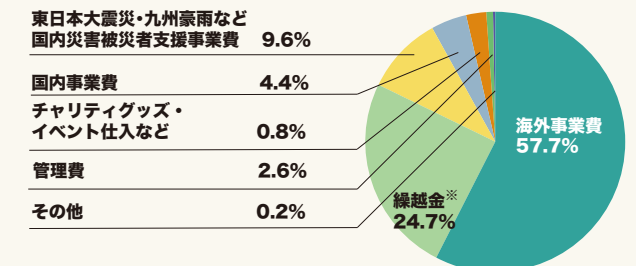
収入	2,055,232,479円	支出	2,055,232,479円
寄付・会費	410,169,524円	海外事業費	1,186,186,566円
日本政府からの補助金	733,036,298円	東日本大震災・九州豪雨など国内災害被災者支援事業費	197,691,595円
国内の企業・団体からの助成金	151,905,137円	国内事業費（被災者支援事業を除く）	91,033,049円
海外からの補助金	391,733,319円	チャリティグッズ・イベント仕入など	15,134,357円
チャリティグッズ・イベント売上など	20,290,330円	管理費	53,625,283円
その他	7,087,965円	その他	3,707,834円
前期繰越金*	341,009,906円	次期繰越金*	507,853,795円

※活用期間が年度をまたいだ助成金・補助金で、既に使途の決まっている資金が含まれています。

収入



支出



2020 年度の活動は年次報告書（2021 年 8 月発行予定）で詳しくご報告します。

今回より各事業地での活動の詳細や事業に携わる職員の声を掲載するなど誌面をリニューアル。全頁カラーでより読みやすい構成になっています。ご希望の方は以下のいずれかの方法でお申し込みください。

発送は 8 月中旬を予定しています。

▶ AAR ニュース夏号に同封するお申し込み用紙 ▶ お電話（03-5423-4511） ▶ ホームページのお問い合わせフォームより

ご協力をお願いします

2021 年 夏募金

— 子どもたちの学びを支えるために—

6 月にお送りした夏募金のお願いに対し、多くの皆さまから温かいお気持ちとメッセージをお寄せいただいております。心より御礼申し上げます。子どもたちが紛争や貧困などによって、教育を受ける機会を奪われることなく学び続けられるよう、引き続きご協力をお願い申し上げます。



パキスタンの小学校に設置した手洗い場。衛生環境を改善することが就学率の向上につながります

ジェイ・ストーム社から AAR にご寄付

水衛生分野の人道支援に活用

株式会社ジェイ・ストーム（代表取締役：藤島ジュリー景子様）はこのほど、AAR の人道支援活動に 1,000 万円をご寄付くださいました。2019 年 11 月 9 日に開催された「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典」で、ジェイ・ストーム所属のグループ「嵐」が歌った「Journey to Harmony」などを収録した CD「カイト」(通常盤)の収益の一部をお贈りいただいたものです。

この祭典では、天皇陛下が長年の研究分野とされている「水」をテーマに制作された 3 部構成の組曲「Ray of Water」のうち、第 3 楽章「Journey to Harmony」(岡田恵和作詞・菅野よう子作編曲)を嵐が熱唱し、大きな感動を呼びました。今回の寄付先について、この曲が天皇陛下の「豊かな水が世界の平和、繁栄、幸福をもたらす」というご発言を表現していることに基づき、実際に水を必要とする地域のために役立てる方向で検討が進んで、AAR に「水衛生改善事業に活用してほしい」とのお話をいただきました。

写真は印刷版のみの掲載となります。

国民祭典で「Journey to Harmony」を歌う嵐のメンバー
(天皇陛下御即位奉祝委員会 提供)

AAR はこうした経緯を踏まえ、①スーダンに流入したエチオピア難民に対する水環境整備 (p5 活動レポート参照)、②アフガニスタンの公立学校4校の水衛生環境整備 (井戸設置およびメンテナンス技術研修) の2つの事業に活用することにいたしました。

ジェイ・ストームをはじめ関係者の皆さまの温かいお気持ちに改めて感謝申し上げるとともに、現地の人々の生活環境が少しでも改善されるよう、ご寄付を有効に活用させていただきます。

「より見やすく、よりわかりやすく」を目指して

2021 年7月下旬、AAR のホームページをリニューアルします。AAR の活動や世界情勢、海外駐在員の生活の様子など、多くの皆さまに関心を持っていただける内容を、より見やすく、よりわかりやすくお届けしてまいります。また、AAR のロゴもより見やすくするため、会名のフォントと色を改めました。

チラシやパンフレットなどのロゴは順次変更してまいります。しばらくの間、新・旧のロゴが混在しますが、あらかじめご了承ください。

■新しいロゴ



■新しいホームページ



AAR News

2021 Summr NO.475

次号は 2021 年 10 月上旬にお届け予定です。

特定非営利活動法人 難民を助ける会
〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズビル7F
Tel.03-5423-4511 Fax.03-5423-4450
www.aarjapan.gr.jp

